

[平成30年度栃木県環境活動促進支援事業助成金交付決定団体一覧]

No.	団体の名称	活動の名称	活動の概要
1	東峰エコキッズ	不耕起草生栽培による枝豆の生育調査	栃木県立博物館学芸員の南谷先生の監修のもと、市貝町サンバの里自然学校にて「枝豆の不耕起草生栽培」に取り組み、生物及び自然を調査し、生態系と環境について考える、エコクラブの活動を通じて、子どもたちへの環境教育・学習を推進する。
2	宇都宮工業高校 エコカー研究クラブ	地球環境にやさしい乗り物の研究	環境学習を行い、温室効果ガスを排出しない地球環境に配慮したエコカーについて考え、誰もが構造を理解しやすい乗り物を製作し、宇都宮市環境学習センター、宇都宮市南図書館、ECOテック&ライフとちぎなどの地域イベントや環境イベント等で乗車会を行い、多くの人々に興味関心を持ってもらえるように活動のPRを行う。エコカーを選択することで地球温暖化対策の推進に繋がることを啓発する。
3	ストップ温暖化 もおかエコの会	省エネ住宅を選択するライフスタイルの提案	居住中のエネルギー消費を減らすことはCO2削減を大きく促すと言われており、一般家屋でも導入可能でCO2排出の削減に貢献できることが理解できるエネルギー自立型戸建てモデル住宅を作成してイベントや出前講座等で紹介することで、省エネ住宅を選択することで快適かつ温暖化防止につながる、一歩進んだライフスタイルを提案する活動。体感型実験装置を考案・作成し、CO2や海水の性質を体感してもらうことで、温暖化防止の行動に繋げる。
4	押し花・園芸福祉 かすみ草	フラワーエコ標語でCOOL CHOICE	押し花づくりを中心に行ってきた福祉活動に、環境に配慮したコト・モノを選択することを、“スイッチスティッカー”や“フラワーエコ標語”を押し花づくりや「COOL CHOICE」クイズを通してイベントや出前講座で市民へ啓発する。地球温暖化に対応する緩和策と適応策のパネル、樹木標本、環境関連の新聞ニュースをディスプレイし、地球温暖化問題への認識度をあげる。従来の福祉活動の中に「COOL CHOICE」の啓発を取り入れていく。
5	NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会	NPO法人栃木県環境カウンセラー協会主催SDGs講演会	SDGs(持続可能な開発目標)については、その必要性が広く認識されつつあるが、誰(個人、企業、団体、組織等)が、どのように取り組み、そのメリットは何か、まだ末端まで伝わっていない。そこで、SDGs、ESD(持続可能な開発のための教育)、生物多様性の保全も含めた国内の取組事例を参考に、今、私たちに出来ることは何かを、皆で考えることを目的として、基調講演、パネルディスカッション、交流会で構成する「SDGs講演会」を開催する。